

鎌ヶ谷市施策評価表(事後)

施策の名称	314鎌ヶ谷市の魅力あふれるまち並みづくり		
施策のねらい (めざす姿)	地域で話し合いがされ、愛着の持てる魅力あるまちの実現を目指しています。魅力あるまち並みや恵まれた自然を活かした景観づくりが進められています。		
基本目標	3「躍動感と魅力あふれる交流拠点都市」をめざして	施策担当マネージャー	都市建設部次長
政策	31魅力あふれるまちづくりを進めます	マネージャー氏名	貞方 敦雄

I 改革・改善内容(=施策をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	制度の周知をさらに図り、市民や事業者の理解を得ることのほか、関連する届出等との整合を図ることにより、効果的な景観誘導を行う必要がある。	③改革・改善内容	制度の周知をさらに図り、市民や事業者の理解を得ることのほか、届出書類の変更を行う。
②①に基づく取り組み結果	事業者等が景観の届出を行う際の提出書類の簡略化を進めるため、景観審議会で合意形成を行った。		

II 施策の目的・概要

①目的	対象	市民、事業者、行政	意図(対象をどうするのか)	良好な景観形成の実現
②施策の概要	景観計画による良好な景観形成のための行為の制限により、良好な景観づくりを進め、魅力あふれるまち並みづくりを行う。			
③環境分析(状況変化や今後の見込み・市民意向など)	景観計画や条例は制定できたものの、一方では景観などに対する問合せや要望などがあり、さらなる周知の必要がある。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成29～30年度の施策の成果	景観条例の適用は、81件(景観条例制定後計 191件)あり事務処理を行った。事業者等の理解も得られ、指導・勧告した事例はなかった。						
②施策成果指標	指標名称		単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	目標値(2年度)
	i	市の景観への満足度(市民意識調査)	%	—	—	29.0	33.0
	ii						
	iii						
③基本事業成果指標	i	景観づくり地域活動団体認定数	団体	0	0	0	増加
	ii	景観計画、景観条例の策定		1	1	1	1
	iii	景観条例の適用数	件	59	48	33	増加
	iv						
	v						
	vi						
④施策の事業費	平成29年度決算	平成30年度決算	市民一人あたり事業費(30年度決算)		令和元年度予算		
事業費(千円)	1,581	22,375	(単位:円) 205 円		25,552		

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	事業者に対しては、窓口対応で景観計画・景観条例の周知に努めているが、市民に対する周知方法が課題である。		
②総合評価	2概ね達成	③総合評価の理由	事業者等の一定の理解が得られ、指導・勧告といった事例はないものの、景観形成や制度に対する市民の意識はまだまだ低いものと思われる。

V 今後の方向性

①施策の方向性	→維持
②上記方向性の説明	今後も市民、事業者に対し、景観形成に関する意識が高まるように努め、魅力ある街並みの形成を目指す。
③特に重点化する事務事業	景観形成事務に要する経費